

欧州特許庁、ロシア特許庁と特許審査ハイウェイの試行を開始

2017年2月9日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、ロシア特許庁と特許審査ハイウェイ（PPH）の試行を開始した旨ニュースリリースにて公表した。

EPOは、昨年10月、ロシア特許庁との間でPPHの試行を行うことに合意しており、今回のPPHの試行は、本合意に基づいて進められたものである。なお、EPOのニュースリリース及びOfficial Journalによれば、試行期間は3年間（2017年2月1日から2020年1月31日まで）としている。

なお、EPOのニュースリリースによれば、EPOとロシア特許庁は、品質問題の面、及び、審査ガイドラインの準備や両庁間及びユーザーからの特許情報へのアクセス向上を目指した特許データの共有を含めた技術的な調和の面で、緊密に協力しており、ロシア特許庁は、2016年1月から、EPO及び米国特許商標庁（USPTO）によって構築された特許分類であるCPC（Cooperative Patent Classification）の使用を開始したとしている。

また、EPOは、PPHの試行について、5大特許庁（IP5）に加えて、オーストラリア、カナダ、コロンビア、イスラエル、メキシコ、及び、シンガポールと進めているとともに、マレーシア及びフィリピンとは、PPHの試行を行うことについて合意済みとしている。

—EPOのニュースリリース及びOfficial Journalの記事は、以下参照—
[EPO launches Patent Prosecution Highway pilot with Russian patent office](#)
[Official Journal January 2017](#)

(以上)